

かめやま KAMEYAMA 市議会だより

第 9 号

平成 18 年 8 月 1 日

発行・三重県亀山市議会

編集・市議会編集委員会

三重県亀山市本丸町577

☎ 0595)84-5059

ホームページ

<http://www.city.kameyama.mie.jp/gikai/>



亀山市消防団消防操法競技大会（神辺小学校）

議会の主な動き

四月

13日 和歌山県日高町議会視察来庁（議会中継）

18日 東海市議会議長会総会（静岡市）

20日 全員協議会

26日 産業建設委員会管内視察

27日 教育民生委員会管内視察

28日 総務委員会管内視察

五月

11日 全国自治体病院経営都市議会協議会総会（東京都）

22日 全員協議会

24日 全国市議会議長会総会（東京都）

26日 三泗鈴亀農業共済事務組合議会臨時会（菰野町）

29日 議会運営委員会

30日 三重県市議会議長会総会（尾鷲市）

〃 総務委員会行政視察（座間市・昭島市・武蔵野市1日まで）

31日 産業建設委員会行政視察

〃 （三田市・養父市・篠山市・大津市2日まで）

〃 宮崎県新富町視察来庁（企業誘致）

六月

5日 定例会開会

12日 議案質疑・代表者会議

13日 一般質問（15日・16日）

19日 産業建設委員会

20日 教育民生委員会

21日 総務委員会

23日 定例会閉会・代表者会議

26日 教育民生委員会行政視察（亀岡市・尼崎市・岡山市28日まで）

28日 福島県富岡町議会視察来庁（行政サービス制限）

29日 鈴鹿亀山地区広域連合議会臨時会（鈴鹿市）

〃 埼玉県狭山市議会視察来庁（企業誘致）

平成十八年六月定例会は、五日に招集され、二十三日までの十九日間の会期で開催しました。開会日には、市政及び教育の現況報告があり、その後、議案九件、報告十八件が上程され、提案理由の説明が行われました。

そして、十二日には議案質疑を、十三日、十五日及び十六日には、市政に関する一般質問を行いました。

二十三日の最終日には、各常任委員会委員長から付託議案の審査報告を受け、採決の結果、原案のとおり可決、承認等することに決しました。

議案質疑・一般質問

発言通告の要旨

六月定例会に、各議員から通告があった議案質疑、一般質問の内容(要旨)は、次のとおりです。

掲載は質問順《 》は所属会派

議案質疑

松上 孝《市民クラブ》

議案第七十九号平成十八年度亀山市一般会計補正予算(第一号)について

1 歳出第二款総務費第一項総務管理費第十四目災害対策費での

① 住宅耐震調査事業三百六十万円

② 住宅耐震計画補助事業三百万円

についてそれぞれの内容・到達目標等

2 歳出第十款教育費第八項教育研究費第一目教育研究費

① こころの教室相談員配置事業四十万五千元

② 子どもと親の相談員活用調査事業三十五万円

についてそれぞれの内容・到達目標等

報告第十三号専決処分した事件の承認について

1 本条例第五条、第十一条、別表第一中最高二百円(最低十七円の補償額の減少)に

なっているがその根拠は

2 議案第七十七号では、亀山市非常勤消防団員に係る報

償金の支給額は引き上げさ

れているがその根拠は

宮崎勝郎《緑風会》

議案第七十三号亀山市税条例の一部改正について

1 第十八条で損害保険料控除額を地震保険料控除額と改正するのはなぜか

2 第十九条第一項で一律の税率に改正するのはなぜか

3 たばこ税の改正により当市のたばこ税の伸びはどれくらい見込んでいるのか

議案第七十七号亀山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について

1 今回の改正は、勤務年数、階級を定めているがどの様な理由なのか

議案第七十九号亀山市一般会計補正予算について

1 災害対策費のなかで住宅耐震事業で三百六十万円増額されるが、今までの耐震診

六月定例会議案一覧

(議案第 号↓議、報告第△号↓報△)

可決した議案

議72 亀山市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について

地方公務員災害補償法の一部改正に伴う改正

議73 亀山市税条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴う改正

議74 亀山市福祉医療費の助成に関する条例の一部改正について

三重県療育手帳実施要綱の一部改正に伴う改正

議75 亀山市国民健康保険条例の一部改正について

地方税法の一部改正に伴う改正

議76 亀山市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について

刑事施設及び受刑者の処遇等に関する法律の施行に伴う改正

議77 亀山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する

条例の一部改正について

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行

令の一部改正に伴う改正

議78 亀山市工業再配置促進に伴う固定資産税の不均一課税に

関する条例の廃止について

工業再配置促進法の廃止に伴い本条例を廃止

議79 平成十八年度亀山市一般会計補正予算(第一号)について

住宅耐震調査事業、住宅耐震計画補助事業など八百八万

八千円を増額

議80 三重県自治会館組合の共同処理する事務の変更及び三重

県自治会館組合の規約の変更に関する協議について

承認した報告

報9

15 専決処分した事件の承認について

断と併せて何戸になるのか
また、新規事業の住宅耐震
計画補助事業とはどのような
事業なのか

2 歳入で衛生費受託事業収入
八十一万円が計上されている
が、歳出では計上されてい
ないがなぜか

櫻井清威《いずれの会派にも
属さない》

議案第七十九号亀山市一般
会計補正予算（第一号）に
ついて

1 住宅耐震調査事業について
・当初の百二十戸分の執行状
況と今回の百二十戸分の補
正は消化できるのか

服部孝規《いずれの会派にも
属さない》

報告第九号専決処分した事
件の承認について
1 非課税限度額の引き下げで
どれぐらいの影響が出るの
か

2 固定資産税のいわゆる「負
担調整措置」によりどれぐ
らいの影響が出るのか
報告第十二号専決処分した
事件の承認について
1 国民健康保険税がどれぐら
いの負担増となるのか
報告第十四号専決処分した
事件の承認について

1 どんな理由により専決処分
をせざるを得なかったのか
議案第八十号三重県自治会
館組合の共同処理する事務
の変更及び三重県自治会館
組合の規約の変更に関する
協議について

1 共有デジタル地図をなぜ、
三重県自治会館組合がやる
のか。また、これを作成す
る経費はどこがどれだけ負
担するのか

小川久子《いずれの会派にも
属さない》

議案第七十三号亀山市税条
例の一部改正について

1 個人住民税所得割の税率が
課税所得二百万円以下、二
百万円をこえるもの、七百
万円をこえるものという三
区分であったものを一律
十％に改正するものである
が、このことで市民への影
響はどうなるのか

2 低所得者に増税、七百万円
以上の高所得者に減税にな
るものでないのか
3 国は税源移譲というが、配
分が県税に厚くなっている。
改正前と改正後で市の税収
は増えるのか、減るのか
4 個人の所得税と住民税の合
計負担を変更させないため、

調整控除をするというが、
この改正で税以外の市民の
負担する使用料、負担金等
で変わるものは何か

議案第七十八号亀山市工業
再配置促進に伴う固定資産
税の不均一課税に関する条
例の廃止について

1 この条例を廃止することに
より、新たに亀山市産業振
興条例の規定の適用となる
事業者はあるのか

一般質問

葛西 豊《市民クラブ》

市の顔づくり環境デザイン
基本構想について

1 実施年度の済んだ現在、こ
の環境デザイン基本計画は
何％進捗しているのか
2 現在の状況より今後はどの
ように進めていくのか。又
出来るとなれば、何年ぐら
いに出来るのか

1 国交省より公図修正がなさ
れたが、西の方の部分の調
査は終わったのか。又、こ
れが終了する事により亀山
駅前には面的整備（区画整
理）或いは、再開発事業に
かかれると思うが所見を聞

了承した報告

報 4 平成十七年度亀山市一般会計繰越明許費繰越計算書に
ついて

報 5 平成十七年度亀山市農業集落排水事業特別会計繰越明
許費繰越計算書について

報 6 平成十七年度亀山市公共下水道事業特別会計繰越明許
費繰越計算書について

報 7 平成十七年度亀山市水道事業会計予算繰越計算書につ
いて

報 8 平成十七年度亀山市工業用水道事業会計予算繰越計算
書について

報 16 寄附受納について
南野町後藤鈴一氏から社会福祉資金の寄附を受けた報告

報 17 寄附受納について
亀山ライオンズクラブから亀山里山公園内へ東屋の寄
附を受けた報告

きたいものです

2 総合計画審議会アンケート
より駅前については重要と
いう点で五満点とすれば
四・二点で重要、評価は五
点満点の内二・二点と低い
点からも考えを聞きたいも
のです

1 幹線道路県道二十八号（亀
山白山線）について一号线
の信号、十字路の信号二つ
の踏切の渋滞について解消
施策は考えられないのか
2 三 六号線の渋滞について

バイパスの考え方はないの
か

3 駅前整備について
ますみ公園より北公園への
吊橋構想について
1 過去三回の質問よりその後
の進捗状況を聞きたい
行財政改革について

1 民（会社）の力を行政に導
入する気はないのか

宮崎勝郎《緑風会》

消防行政について
1 消防における大合併をどの
ように考えているのか

- 2 東部地域における分署の設置について検討されたのか
- 3 消防施設（消防団車庫等）を検討しているのか
- フェロシルトの撤去について

- 1 フェロシルトの撤去は、何故期間延長になるのか
- 2 搬送における沿道自治会等との調整は万全か
- 3 教育行政について

- 1 児童、生徒の通学路整備（通学安全灯）はよいのか
- 2 教員の指導力不足の研修制度と教員の評価制度はどのようにしていくのか

- 1 今後、観光行政をどのように推進するのか
- 2 観光協会と行政はどのように関わるのか

- 1 総合計画の中で、南部地域をどのように考えているのか
- 2 楠平尾における里山の保護について考えはあるのか

- 3 金王道の整備について、その後どのように検討されたか
- 4 市道野村楠平尾線の今後の整備計画についてどのようにするの

- 1 下水道整備事業について
- 2 雨水貯留施設補助制度は考えているのか

宮崎伸夫《親和会》

- 1 児童生徒の安全対策について

- 1 関係機関との連携について
- 2 学校自体の取り組みについて

- 3 今後の課題について
- 1 今後の対応
- 2 情報提供の通信手段について

橋本孝一《きせき会》

- 1 自立した五万人都市を目指して

- 1 今後の財政について
- 2 人材育成（長期的な見地より）

- 3 亀山駅総合対策
- ① 駐車場管理
- ② 夢から現実対策へ

- ③ 南出口の新設と活用
- ④ 新市受皿の拡充

- ⑤ 複線電化

④ 高等教育対策

- 1 クリスタルバレー構想に相応しい教育
- 2 国際化への対応

- ⑤ 対中国市民レベルの交流促進

中村嘉孝《関和会》

- 1 関宿賑わいづくり調査検討事業（温泉活用含む）について

- 1 平成十七年度より進めている調査の進捗状況について
- 2 関宿温泉の有効利用については、今後どのような方針を考えていくのか

- 3 平成十八年度実施する調査の概要及び今後の方針について
- 1 地域生活交通再編事業について

- 1 新市全体の生活交通の再編について今後の方針と方向性について

- 2 周辺地域と市中心部への交通手段の確保について
- 3 乗り合いタクシーの運行事業について

- 4 合併特例債を生活交通再編事業に充てること
- 5 高齢者移送サービスの現状とこれからの方針はどうお

- は可能か

考えか

- 6 市民の生活交通関連の要望等はとういった手法で聴取するのか
- 1 国道二十五号線（県管理）の整備について

- 2 側溝や道路両側の雑草対策等
- 3 介護保険制度について

- 1 四月からの介護報酬改訂によるケアマネージャー一人あたりのプラン作成件数の制限による影響は
- 2 「地域包括支援センター」の機能と役割は、また現状は

- 3 「地域包括支援センター運営協議会」の現状は
- 1 地域づくりについて

- 1 地域づくり活動のグループに対する補助制度について

- 1 四月の組織変更について
- 1 部制室制に移行した理由・目的は、効果は

- 1 通学路・安全確保について
- 1 各地で悲惨な事故が発生しているが対応は

- 1 南部開発に対する市としての考え方について問う

- 1 南部開発について

- 1 開発について

- 1 1 少年高齢化
- 1 少子化について企業誘致との関連について
- 2 水の確保についてもOKか
- 1 広域連合について
- 1 連合として介護施設の送迎車から営業車両とする決定がなされた理由について
- 1 鹿島橋について
- 1 今後の工事見通しについて

坊野洋昭《緑風会》

- 1 上水道について
- 1 市内で水道を引かず、井戸水だけを使っている住宅数は

- ① これらの住宅に対する市の指導はどうなっているか
- 2 給水の年間申込数は何件あるか

- ① そのうち水道本管からスムーズに引き込めた件数は
- ② 水道本管の容量不足で管径の増加工事等で負担金の必要になったものは何件か
- ③ 給水申込者の負担金①②の場合どのくらいの額か
- ④ 特別な負担金が必要になった場合の水道引込管の所有権はどうなっているのか
- 3 受益者負担の現行制度をどう考えているか

- ① 先行投資と考えて特別な場

- 1 1 少年高齢化
- 1 少子化について企業誘致との関連について
- 2 水の確保についてもOKか
- 1 広域連合について
- 1 連合として介護施設の送迎車から営業車両とする決定がなされた理由について
- 1 鹿島橋について
- 1 今後の工事見通しについて

- ① これらの住宅に対する市の指導はどうなっているか
- 2 給水の年間申込数は何件あるか

- ① そのうち水道本管からスムーズに引き込めた件数は
- ② 水道本管の容量不足で管径の増加工事等で負担金の必要になったものは何件か
- ③ 給水申込者の負担金①②の場合どのくらいの額か
- ④ 特別な負担金が必要になった場合の水道引込管の所有権はどうなっているのか
- 3 受益者負担の現行制度をどう考えているか

- ① 先行投資と考えて特別な場

合を除き市でやる考えはないか

学校通訳について

- 1 小中学校の外国人児童、生徒について
- ① 学校別の人数、国別の人数
- ② 外国人生徒の語学力はどの程度か
- ③ 保護者の語学力はどの程度か
- ④ 通訳を必要とし派遣を求められた件数はどのくらいあったか
- ⑤ 通訳はどのように確保しているのか、何人ぐらいおられるのか(市内在住の人は何人か)
- ⑥ その勤務体系と待遇はどのようになっているか

水野雪男《親和会》

行政改革について

- 1 平成九～十六年度(八年間)の総括を問う
- 2 新行政改革大綱(平成十七～二十一年度)について
- ① 地域経営力とはどういうイメージなのか
- ② 市民サービスと行政改革の均衡をどうはかっているか
- ③ 事務事業の再編整備について
- ④ 政策、事務事業評価制度の導入についての考え方を問う

イメージなのか

- ② 市民サービスと行政改革の均衡をどうはかっているか
- ③ 事務事業の再編整備について
- ④ 政策、事務事業評価制度の導入についての考え方を問う

観光の振興について

- 1 市の観光行政と亀山市観光協会の位置づけをどう思っているのか
- 2 観光協会事業の全市的な拡充をはかることを含めて観光振興の方向を尋ねる
- 3 新総合計画の策定について
- 4 地域活力創生委員会、総合計画策定研究会の活動状況と総合計画策定への反映、支援はどうなっているのか
- 5 基本構想は中間案であるがこの素案で市民アンケート結果をどう反映させたのか
- 6 計画策定にあたって市民参加の方策は

大井捷夫《きせき会》

行政改革の推進について

- 1 組織・機構改革が実施され、二カ月を経過するが評価、
- 2 指定管理者制度がスタートしたが現況と今後について
- 3 地方公務員の給与の制度と現状について
- 4 今後の給与制度の在り方について
- ① 公務員給与の仕組みについて
- ② 公平委員会の機能強化について
- ③ 勤務評定、昇給制度の確立について
- ④ 給与情報の公表システムの構築について
- ⑤ やる気を起す意識改革への取り組みについて
- ⑥ 経営会議は機能しているのか

考課について

- 2 指定管理者制度がスタートしたが現況と今後について
- 3 地方公務員の給与の制度と現状について
- 4 今後の給与制度の在り方について
- ① 公務員給与の仕組みについて
- ② 公平委員会の機能強化について
- ③ 勤務評定、昇給制度の確立について
- ④ 給与情報の公表システムの構築について
- ⑤ やる気を起す意識改革への取り組みについて
- ⑥ 経営会議は機能しているのか

防災・防犯・国民保護に関する取り組みについて

- 1 危機管理室が設置されたが取り組みについての基本的考え方について
- 2 国民保護法制定に伴う「亀山市国民保護計画」の作成の進捗状況、今後のスケジュールについて
- 3 教育問題について
- 4 教育基本法の改正(継続審議)、中教審報告、学習指導要領全体の見直しを受けて亀山市教育委員会として

井田川小学校区内の国道三〇六号について

- 1 通学路の安全性について現状を問う
- 2 国道三〇六号の道路改良の現状と課題を問う
- 3 市民からの要望はどのように取りまとめようか
- 4 鈴鹿関について
- 5 日本三関のひとつ鈴鹿関の土壘が発見されて市長の思いを伺いたい
- 6 今後の計画はどのように進めていくのか
- 7 小野城跡等について
- 8 国道一号関バイパスの事業化により小野城跡等の遺跡調査を早くする必要はないのか
- 9 東海道自然歩道等での遭難

前田 稔《関和会》

井田川小学校区内の国道三〇六号について

- 1 通学路の安全性について現状を問う
- 2 国道三〇六号の道路改良の現状と課題を問う
- 3 市民からの要望はどのように取りまとめようか
- 4 鈴鹿関について
- 5 日本三関のひとつ鈴鹿関の土壘が発見されて市長の思いを伺いたい
- 6 今後の計画はどのように進めていくのか
- 7 小野城跡等について
- 8 国道一号関バイパスの事業化により小野城跡等の遺跡調査を早くする必要はないのか
- 9 東海道自然歩道等での遭難

どのように展開していくのか

- 2 特別支援教育体制の整備状況について
- 3 母子保健法と学校保健法との整合を図って事業を進めるために、教育、福祉との連携が不可欠であると思うがその取り組みについて
- 4 川崎小学校改築計画について

亀山市行政改革大綱より

- 1 指定管理者制度の活用について
- ① 制度の検証結果
- ② 施設の管理状況
- ③ その他課題はありますか
- 2 整理合理化による人件費の削減について

松上 孝《市民クラブ》

者救出について

- 1 遭難者の場所を簡単に特定できる方法はないのか

A これまで(H九～H十六)とBこれから(H十七～H二十一)の行革において

- ① 定員適正化計画の達成
- ② 時間外勤務の縮減
- ③ 勤務時間弾力化制度の実施

1 「市長と地域を語る会」「子どもワークショップ」等意見集約の範囲について

- 2 情報化の進展のうちインターネットや携帯端末による「ユビキタス社会」について

森淳之祐《緑風会》

商業の振興について

- 「中小商業レベルアップ推進事業」について

1 昨年度にはどのような事が行われたのか

2 売上アップなど業績の向上が図られたとされているが、具体的な効果は

3 今後市内の商業活性化を図っていくための二年目の取り組みと今後について
情報化と地域自治の推進について

1 「かめやま・安心メール」のサービスが今月一日よりスタートしたが、そのPRと登録の呼びかけは充分に出来ていたのか

職員の資質の向上について
1 四月、五月と実施された市の経営力を高めるための幹部職員の研修会はどのような形式で実施されたのか、今後それらをどのように生かしていこうとされているのか

2 教職員の資質向上のための関連講座、研修会の充実について

3 亀山市教育研究会で研究発表されてきたものの中で、学校現場からも高く評価を受け今すぐにでもモデル校として実施すべきものがあると考ええるが如何か

学校関係の大規模改修事業

の中で、亀山東幼稚園と第二愛護園の改築について

1 幼保共用施設への検討委員会の設置計画とその改築の目標時期について

2 この事業について、主体性をもって進めていくのはどこになるのか

友好都市交流について
1 当市は国内の都市交流と外国都市との交流について、今後どのように考えているのかお伺いしたい

池田依子《市民クラブ》
教育・文化の充実と健康福祉の充実

1 食育基本法、食育推進計画の施行に基づく食生活の改善と健康増進について
① 児童・生徒の生活習慣と健康に関する実態調査

② 小中学校における栄養教諭の配置状況と地場産物の活用

③ 食べ物と健康に関する正しい知識の普及
④ 食育月間(毎年六月)や食育の日(毎月十九日)などを活用し各世代を対象としたセミナー

1 公共施設等へのAED(自

動対外式除細動器)導入について

① 配備状況
② 今後の配備計画
③ 啓発と講習について今後の取り組みは

2 住基カードの推進について
① 白鳥の湯「市民デーの日」のトラブル解消に市民証に変わる住基カードの啓発

② 特定期間その場でできるシステムの導入

片岡武男《市民クラブ》
市道野村布気線と県道、白木西町線について

1 新設の市道、野村・布気線と県道、白木・西町線との整備計画の内容について
2 市道、野村・布気線へと、現存道路との交差について
国道一号线側道部と和賀・白川線信号交差点迄

1 新斎場建設計画について
2 整備計画における全体投資額について

3 新斎場への進入道路の計画について

櫻井清威《いずれの会派にも属さない》
市営住宅の老朽化に伴う新築について

旧関町は昭和二十四年、旧亀山市は昭和三十九年建築とあるが、耐震化構造についての不備を解消しては

市道整備について
1 幅員4m以下の市道の現状

は
2 幅員4m以下の市道の拡幅計画は
福祉について

1 土・日・祭日におけるケアマネージャーの配置についての考えはないか
2 夜間におけるホームヘルパーの派遣の考えはないか

伊藤彦太郎《いずれの会派にも属さない》
1 エコミュージアム構想について
2 旧関町時代に検討されたエコミュージアム構想がどう引き継がれているのか

2 閉宿温泉の活用について
① 十八年度実施する調査の内容

容は
② 活用に向けての今後の方針

小川久子《いずれの会派にも属さない》
男女共同参画について
1 本年三月に男女共同参画基

本計画が策定されたが、この計画を推進するために市はどのような具体策を求めているのか

2 市が民間に先だつて男女共同参画をすすめる責務があると思う。その為には、育児休業、介護休業等が重要

と思うが現状と今後の方針はどうか

3 男女が社会の対等な構成員としてあるためには、研修や会議等の保障がされなければならぬが、施策は十分とられているか

通学路の安全について
1 国道306号の通行量が非常に多い中で、小・中・高校生らの通学に特に危険な場所がいくつかあるが、早期解消に向けての市の取り組みの現状を問う

2 中学校区の範囲は広く、道路照明の必要な場所も多い。安全性の強化の為の市の方策を求める

服部孝規《いずれの会派にも属さない》
自衛官適齢者名簿の提供について

1 自衛隊の求めに応じて本人の了解もなく四情報(氏名、住所、生年月日、性別)を

提供しているのは法違反ではないのか

2 この情報提供は住民基本台帳法のどこに根拠があつてなされているのか

3 県内すべての自治体でこうした情報提供をやっているのか

溶融炉から出る飛灰、スラグ、メタルについて

1 飛灰の処理の現状と最終的な処理をどうするのか、今後の対策について問う

2 スラグ、メタルは売却されているが、実際にどのような活用されているのか

質疑と答弁

提出議案に対する質疑者とその主な内容は、次のとおりです。

12日 松上 孝、宮崎勝郎、櫻井清蔵、服部孝規
小川久子

議案第73号

亀山市税条例の一部改正について

問 地方税法の改正により、これまで個人住民税の課税の税率区分が三段階であつたものが一律十パーセントになる。課税所得二百万円以下の金額であつた人は五パーセント、七百万円以上の高額所得者は十三パーセント課税が十パーセントの税率になる。

答 低所得者層の個人住民税が五パーセントから十パーセントになるのは法違反ではないのか

問 条例第十八条で損害保険料控除額を地震保険料控除額に改正されるが、損害保険料

の中に、火災保険料が入つており、この保険には、多くの市民が加入され控除されている。損害保険料控除がなくなり、新しく地震保険料が控除となる、この改正はなぜなのか尋ねる。

答 税制改正は、安心・安全への配慮が一つの目玉となつており、所得税、個人住民税において地震保険料控除の創設も一つとして挙げられた。一方で、個人住民税は、広く住民が地域社会の費用を分担するという性格があることから、市町村の政策との関係が薄い国の政策誘導的な控除、例えば生命保険料控除や損害保険料控除は、縮小・整理の方向が示された。

議案第79号

亀山市一般会計補正予算(第一号)について

問 住宅耐震調査事業は、平成十五年度から始まり、平成十七年度までに三百二十三件が実施されてきた。今回、当初予算の追加で三百六十万円、百二十戸分が計上され、本年度は二百四十戸計画されている。本市は、昭和五十六年五

月三十一日以前の木造建造物が五千五百一戸所在しており、平成十八年度で全体の二割強の耐震調査が行われるが、どのような考えで補正されるのか。

答 平成十五年に、東海地震防災対策強化地域に新たに三重県内で十八市町村が指定された。本市は含まれていなかったが耐震調査を事業化し、国、県の補助事業として採択され実施してきた。

報告第9号

専決処分した事件の承認について

問 教育費のこころの教室相談員配置事業四十万五千円、子どもと親の相談員活用調査事業三十五万円の補正予算について、それぞれの事業内容到達目標をどのように考えているか。

子供を取り巻く環境の中で、事業は急を要すると思うかどうか。

答 こころの教室相談員配置事業は、小・中学生が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげる第三者的な存在となる相談員を配置し、心のゆとりを持てる環境を提供するもの

問 固定資産税の算定に当たり、評価額を地価公示価格の七割にすることが大きな前提であつた。今までいわゆる負担調整措置()といものがとられてきた。ところが、今回はその内容を変えられた。改正前の負担調整措置と今回の負担調整措置とはどのようなに変わったのか。

答 条例の改正により、固定資産税の負担調整は、税額算定の簡素化を図るため、従来の負担調整では評価額に達するまでに時間がかかること

である。県から三分の一の補助で、小学校二校と中学校一校に配置する。

子どもと親の相談員活用調査事業は、小学校における不登校について、早期の対応が効果的であることから、教育相談体制の充実のため、話し相手、悩み相談、家庭・地域と学校の連携の支援などを受け持つ相談員を配置する。県の事業で、今年度一校の認定を受け、一名配置する。

から改正が行われた。これまでの計算方法は、前年度の課税標準額に一・一五から一・二五までの五段階の負担調整率を掛けていた。改正後は、前年度の課税標準額に評価額の五パーセントを加算する計算方法となった。

(一) 負担調整措置とは、宅地のうち負担水準の高い土地と低い土地の負担水準の均衡を図ることを目的にとられている調整措置です。

質問と答弁

市政に関する一般質問の質問者とその主な内容は、次のとおりです。

13日 葛西 豊、宮崎勝郎、宮崎伸夫、橋本孝一、中村嘉孝、豊田勝行

15日 坊野洋昭、水野雪男、大井捷夫、前田 稔、松上 孝、森 淳之祐

16日 池田依子、片岡武男、櫻井清蔵、伊藤彦太郎、小川久子、服部孝規

商業の振興について

問 昨年を初年度として実施している中小企業レベルアップ推進事業は、他市にない事業であり、今後商業振興策として期待をしているが、この事業の成果を伺う。

また、今後、市内の商業活性化を図っていくための取り組みはどうするのか。

答 昨年度、推進事業に取り組んだ中小事業者五店舗で、専門家の指導を受け、勉強会を重ねるなどして、自店の経営改革を進めてもらった。そ

算方法となった。

（一）負担調整措置とは、宅地のうち負担水準の高い土地と低い土地の負担水準の均衡を図ることを目的にとられている調整措置です。

の結果、ある食品スーパーや売り場の改装を行った店舗では利益率の改善や前年対比で売り上げが増加したと聞いている。また、二年目の取り組みとしては、昨年と同様の内容で、亀山商工会議所と関町商工会に委託し、事業を実施する予定である。

観光行政の推進について

問 市内には観光資源として、関宿、石水溪、亀山城などがあり、また観光客を招くための各種イベントなども計画されている。今後、観光資源の

発掘等も含めて、観光行政をどのように推進していくのか。

答 当市には亀山城址や関宿の町並みなど歴史資源、石水溪に代表される自然資源などがあり、大都市近郊型の観光拠点として発展する可能性を有していると考えている。

また、先般、発見された鈴鹿の関の一部と考えられる土塁についても新たな観光資源となる可能性を秘めており、この活用についても行政として取り組んでいきたい。

今後、観光地としての魅力を高めるものとして、市の特性を生かした街道ウォーキングや産業観光など体験型の観光なども研究していきたい。

関宿賑わいづくり

調査検討事業について

問 関宿賑わいづくり調査検討事業が行われているが、旧関町の時に東海道エコミュージアム構想があった。これは、従来の枠にとられず、地域の人の生活や自然環境、文化産業遺産など、地域全体を博物館としてとらえる考え方である。この東海道エコミュージアム構想は、新市にどのよ

うに引き継がれているのか。

答 関宿とその周辺地域におけるにぎわいづくりに関する調査検討事業は、地域にある歴史・文化遺産、自然資源、地域活動などを活用し、地域の活力を高めるにぎわいづくりのあり方を探るもので、有識者、地域関係者の意見を聴きながら、基本方針の策定を進めているところである。



関宿の町並み

エコミュージアム構想については、合併協議において引き継がれた事項ではないと認識している。

小・中学校の栄養教諭の配置と地産地消について

問 小・中学校における栄養

教諭制度が創設されて一年を経過したが、栄養教諭の配置状況について伺う。また、旧亀山市内では、自校方式で学校給食を行っており、食材等、地場産物の活用状況はどうなっているのか。

答 現在、市内の小・中学校では、栄養教諭の配置がなされていない。しかし、現職の学校栄養職員は一定の経験と認定講習により栄養教諭の資格を取得することができ、本年度中に四人が資格を取得できるものと思っている。本市にも配置されるよう今後ともに働きかけていく。

また、地場産物の活用については、亀山産の野菜を可能な限り調達している。亀山で調達できない食材については、三重県産を使用するように務めている。

国道二十五号線の整備について

問 国道二十五号線の関町新所の西交差点から加太地区の集落を過ぎるまでは、一般県道や市道に比べても改良率が低い状況となっている。道路側溝の未整備箇所も